



入学式・新入生を迎える会 素晴らしい態度でした。

4月8日(月)、平成31年度、令和元年度がスタートしました。3年生は、県北中の最高学年として、心新たにこの日を迎えたことと思います。

昨年1年間で心身ともに大きく成長したみなさん。中学校、義務教育最後の1年をどのように過ごすかが大事になってきます。

着任式や始業式では、胸を張り、話す人をしっかり見るなど大変立派な態度で臨みました。また、入学式の準備では、各自の役割を果たし、自ら進んで仕事を行っていました。

片付けも、素早く行き、一緒に仕事をしていてとても気持ちよかったです。ありがとうございました。

どうせやるなら全力で！1つ1つの仕事に丁寧に取り組める3学年集団は素晴らしいです。その力を今後修学旅行・中体連等に発揮してくれることでしょう。大いに期待しています。

第3学年主任 今村 恵美子

◆ 新入生を迎える会 大成功 ◆

4月9日(火)に生徒会が主催した”新入生を迎える会”が行われました。本部役員や専門委員長からそれぞれの活動を説明し、その後は各部活動ごとの紹介が行われました。工夫を凝らした紹介に、会場全体が温かい雰囲気になりました。

つかみは OK です！後は1人でも多くの新入部員が来ることを待ちましょう！

『 一部紹介します 』



☞ 専門委員会



野球部 ☞



☞ 男子卓球部



吹奏楽部☞



☞女子卓球部



柔道部 ☞



学級を・学年をリードしていくメンバーです！

	学級委員長	学級副委員長
1組	安藤さん	
2組	佐藤くん	鈴木さん
3組	大槻くん	太田さん

新年度にむけての意気込み！！

学年委員長 安藤 舞子さん(3-1)

今までより、みんな楽しく生活していきたい
と思います。しかし、楽しい中にも責任ある行
動をし、礼儀正しく、当たり前のことを当たり前
にできる素晴らしい学年をみんなで作ってい
きたいと思います。そのためには、自分から大
きな声でのあいさつ・3分前着席など当たり前
の質を向上していきます。

副委員長 佐藤真沙斗くん(3-2)

自分から率先して行動できるようにします。
今までは、周りを見て行動できなかったのも、
もっとみんなの役に立てるような行動をしてい
きます。

学年書記 大槻 翔空くん(3-3)

前年度はできていたあいさつが最近慣れて
きて、少し甘いところがあります。あいさつはと
ても大事なことだと思うので、しっかりとできる
よう中心となって行動していきます。さらには、
3分前着席の呼びかけや週番活動にもより力
を入れて活動し、学年・学級をよりよくしてい
きます。

学年委員 鈴木 柚那さん(3-2)

副委員長として、委員長をサポートしながら
も、周りを見て自分で仕事を見つけ、行動し
ていきたいと思います。また、あいさつは相手
の目を見て、大きな声で行うだけでなく、心を
込めてやれるようにしていきたいです。

学年委員 太田 史奈さん(3-3)

3年生＝入試だと思います。学習の範囲はと
ても広くて大変ですが、「今日は○ページま
で」など具体的な目標を決めて取り組みたい
です。また、1・2年生のお手本になれる態
度で生活していきたいです。残り1年の中学生
生活を大いに楽しみたいです。

～4月19日(金)授業参観・PTA総会・
学年懇談会が行われます。～

12:45～13:35 授業参観

3年1組 英 語 ICT 教室
3年2組 数 学 教 室
3年3組 道 徳 教 室

13:45～14:45 PTA総会

体育館にて

15:00～16:10 学年懇談会

1階多目的ホール

♥来週の行事予定♥

	朝自習	○行事予定 ★提出・持参物
15月	国14	○正規時間割開始 ○生徒会専門委員会(放課後) *短縮・簡単清掃
16火	数14	○貧血検査 ○内科検診
17水	理14 ・15	○全校集会(任命)放課後 *短縮・簡単清掃
18木	テスト 勉強	○3年生全国学力検査
19金	社14	○授業:金1～3・給食・授業参観 ○PTA総会、学年懇談会等 *部活動なし

*次号で「書記会」メンバーの決意を
紹介します*



こんな3年生になってほしい！

① すべては自分が努力することから始まる。

自分の顔を鏡に映したと想像してください。

鏡に映った自分の髪型がちょっと乱れていることに気が付きました。

そのとき、あなただったらどうしますか？

鏡に映った自分の髪型を直す人はいないでしょう。もちろん自分の髪型は直しますよね。

自分の髪型を直すことで、鏡の中の自分の髪型が直るのです。

実は、このことは、すべてのことに通じています。

「今の自分」は、自分が心の中で思っていたことが、「現実の姿として現れたもの」なのです。

つまり、あいさつができない人は、自分の心の中で「あいさつをしない」と思っている人。

柏葉ノートや自主勉・課題を提出しない人は、自分の心の中で「提出しない」と思っている人ということになります。

自分ができないこと、しないことをまわりのせいにしてしている人がいますよね。「○○ができないのは、××のせいだ」とか「○○のせいで、自分は××だ」というような人です。

こういう人の言葉には、「まわりを頼りにしていますよ」という甘えの気持ちが見え隠れしています。だって、まわりの人がしてくれなかったら、自分はしないと知っているのですから。

「自立:自ら立つ」には程遠いです。小さなこどもの世界で満足しているのです。

そろそろ「自分から……」「自己責任で……」という気持ちを持って、動くべき時です。もう15歳になるのですから…。

② 環境を変えるのではなく、その環境の中で努力ことで自分の思いを実現していく。

この言葉は、宇津木妙子さんの著書に書いてあった言葉です。宇津木さんは、日本代表女子ソフトボールを世界に通用するチームに育てたことで有名です。(日本代表チームは、シドニーオリンピック銀メダル、アテネオリンピック銅メダル、北京オリンピック金メダル)

宇津木さんは高校時代、チームメイトからなぜか言葉をかけてもらえませんでした。監督から「キャプテンをやれ」と言われても「信頼のない自分が」と断ろうと思いましたが、ほとんど命令に近い形でキャプテンになりました。

キャプテンになっても相変わらず、チームメイトは声をかけてくれません。ひどい人になると目も合わせてくれないのです。

宇津木さんは何度もソフトボールを辞めようと思いました。ソフトボールから離れれば、楽になると思ったからです。

しかし、どうしても辞められませんでした。ソフトボールが大好きだったからです。みんなで優勝を勝ち取るようなチームを夢見ていたからです。宇津木さんは、チームメイトの「優勝したい」という気持ちだけを信じて練習を続けました。そして、最後の大会、本当に優勝したのです。

その日の夜です。チームメイトが泣きながら謝りに来たそうです。宇津木さんは、一人一人と抱き合い、気持ちを分かち合ったのです。

私たちは何かあると、自分にとって不都合な事態が生じると、そこから逃げ出すことを考えます。でもよく考えてみると、逃げても、不都合な事態は何も変わらないのです。

人間は何と弱いのかと思います。場所さえ変われば、楽になると思ってしまうからです。環境を変えることも時には必要です。しかし、今ある環境の中で、そこで自分が努力することも大切なことです。

自分が努力すること！に挑戦しませんか？